



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 三枝 匡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員・CFO (氏名) 真田 佳幸

TEL 03-3647-7124

四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	95,791	7.5	13,001	△0.0	13,274	4.9	7,344	0.7
23年3月期第3四半期	89,130	44.1	13,001	142.9	12,650	152.5	7,290	204.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 6,288百万円 (△4.6%) 23年3月期第3四半期 6,594百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	81.92	81.76
23年3月期第3四半期	81.97	81.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	106,915	88,292	82.1
23年3月期	107,551	84,275	77.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 87,777百万円 23年3月期 83,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.70	—	10.50	20.20
24年3月期	—	10.20	—		
24年3月期(予想)				12.30	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	7.3	16,400	5.4	16,600	9.0	9,200	2.1	102.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	90,381,784 株	23年3月期	89,853,084 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,215,529 株	23年3月期	385,333 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	89,652,081 株	23年3月期3Q	88,946,723 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の大幅な低下に加え、原子力発電所の事故に起因する全国的な電力不足によって甚大なる損害を受けました。また、震災による供給網の寸断は、国内のみならず海外各国の生産活動に対しても大きく影響を及ぼすに至りました。さらに、これまで強い経済成長を続けてきた中国は金融政策の引き締めなどにより実質GDP成長率が減速し、欧米においても経済成長が減速感を示すなど、世界経済は厳しさを増しました。当社グループの顧客である機械製造業界においても、国内輸出企業を中心とした設備投資や、アジア各国における生産活動が伸び悩む厳しい情勢となりました。欧州債務危機の深刻化に伴い世界経済に対する不安が高まっていることに加え、タイにおいて多くの製造業の生産設備が大洪水により深刻な打撃を受けるなど、先行き不透明感は増してきております。

このような環境の中においても、当社グループは高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率を維持しています。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、アジアを中心に営業拠点を拡充することで販売力を強化すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでおります。

この結果、連結売上高は、957億9千1百万円、対前年同期比で66億6千1百万円(7.5%)の増収となりました。利益面につきましては、上述したような積極施策を継続し、それに合わせた人員増加などの将来の成長に向けた施策を予定通り実行した先行投資負担などにより、営業利益は130億1百万円、対前年同期比同額となりました。経常利益は132億7千4百万円、対前年同期比で6億2千4百万円(4.9%)の増益、2011年12月公布の税制改正を受けて繰延税金資産の一部を取り崩した結果、当期純利益は73億4千4百万円、対前年同期比で5千3百万円(0.7%)の増益となりました。

・報告セグメントの業績

①自動車事業

主要顧客層である自動車業界では、震災による生産の混乱状態から徐々に生産活動を正常化してきた反面、液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界では生産活動の停滞が継続しました。そのような状況下、当社グループは国際市場においてミスミモデルを浸透させることで顧客数を拡大、売上高は592億8千5百万円となり、前年同期比では43億5千4百万円(7.9%)の増収となりました。営業利益は93億9百万円となり、前年同期比では2億1千5百万円(△2.3%)の減益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界で一部明るい兆しが出てきたものの、電機・電子業界の生産稼働の低迷が継続、売上高は203億8千3百万円となり、前年同期比では5億7千1百万円(2.9%)の増収となりました。営業利益は17億1千9百万円となり、前年同期比では3千4百万円(2.0%)の増益となりました。

③エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業は、液晶・半導体業界の低迷の影響はあったものの、売上高は90億4千7百万円となり、前年同期比では7億2千1百万円(8.7%)の増収となりました。営業利益は11億1千4百万円となり、前年同期比では2億3千2百万円(△17.3%)の減益となりました。

④多角化事業

多角化事業は、機械加工用工具・消耗品関連事業(ファクトリーサプライ事業部担当)、及び動物病院向け医療消耗品関連事業(㈱プロミクロス)より構成されています。ファクトリーサプライ事業の主力商品である超硬エンドミルの販売が好調に推移したことで、多角化事業の売上高は72億7千5百万円となり、前年同期比では4億9千万円(7.2%)の増収となりました。営業利益は4億4千2百万円となり、前年同期比では1千7百万円(△3.9%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ6億3千5百万円減少し、1,069億1千5百万円となりました。この主な要因は、流動資産が2千万円減少したこと、有形固定資産が6千万円増加したこと、ソフトウェア等の無形固定資産が2億6千5百万円増加したこと、及び投資有価証券等の投資その他資産が9億4千1百万円減少したこととであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ46億5千1百万円減少し、186億2千3百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が8億3百万円減少したこと、未払法人税等が25億7千1百万円減少したこと、賞与引当金が9億2千2百万円減少したことにより流動負債が47億9千5百万円減少したこと、及び退職給付引当金等の固定負債が1億4千3百万円増加したこととあります。

純資産は前連結会計年度末に比べ40億1千6百万円増加し、882億9千2百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が54億8千7百万円増加したこと、自己株式が△13億9千8百万円増加したこと、新株予約権行使により資本金・資本剰余金が合計9億2千9百万円増加したことにより、株主資本が50億1千7百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が10億5千5百万円減少したこととあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,763	33,400
受取手形及び売掛金	25,964	26,363
有価証券	4,866	5,345
商品及び製品	9,082	10,318
仕掛品	906	920
原材料及び貯蔵品	2,549	2,742
その他	3,177	3,004
貸倒引当金	△326	△130
流動資産合計	81,985	81,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,006	6,601
機械装置及び運搬具(純額)	3,338	3,363
土地	3,889	3,794
その他(純額)	838	1,373
有形固定資産合計	15,073	15,133
無形固定資産		
ソフトウェア	4,183	4,549
のれん	488	306
その他	247	328
無形固定資産合計	4,919	5,185
投資その他の資産		
投資有価証券	3,229	2,188
その他	2,462	2,559
貸倒引当金	△117	△115
投資その他の資産合計	5,573	4,632
固定資産合計	25,566	24,950
資産合計	107,551	106,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,567	7,764
短期借入金	900	1,000
未払法人税等	4,907	2,336
賞与引当金	1,660	738
役員賞与引当金	275	383
その他	4,249	3,544
流動負債合計	20,562	15,766
固定負債		
退職給付引当金	2,026	2,171
役員退職慰労引当金	424	419
その他	263	267
固定負債合計	2,713	2,857
負債合計	23,275	18,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,340	5,805
資本剰余金	15,112	15,576
利益剰余金	66,235	71,723
自己株式	△651	△2,050
株主資本合計	86,036	91,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△59
為替換算調整勘定	△2,252	△3,217
その他の包括利益累計額合計	△2,221	△3,276
新株予約権	460	514
純資産合計	84,275	88,292
負債純資産合計	107,551	106,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	89,130	95,791
売上原価	52,944	56,735
売上総利益	36,185	39,055
販売費及び一般管理費	23,183	26,054
営業利益	13,001	13,001
営業外収益		
受取利息	109	142
貸倒引当金戻入額	—	197
雑収入	180	135
営業外収益合計	290	475
営業外費用		
売上割引	18	23
為替差損	519	165
雑損失	102	13
営業外費用合計	640	201
経常利益	12,650	13,274
特別利益		
固定資産売却益	3	—
資産除去債務履行差額	37	—
関係会社株式売却益	14	—
特別利益合計	55	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5
関係会社株式売却損	94	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	163	5
税金等調整前四半期純利益	12,543	13,269
法人税等	5,252	5,924
少数株主損益調整前四半期純利益	7,290	7,344
四半期純利益	7,290	7,344

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,290	7,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△90
為替換算調整勘定	△741	△965
持分法適用会社に対する持分相当額	50	—
その他の包括利益合計	△696	△1,055
四半期包括利益	6,594	6,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,594	6,288
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	54,931	19,812	8,325	6,784	89,854	△724	89,130
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	54,931	19,812	8,325	6,784	89,854	△724	89,130
セグメント利益	9,524	1,685	1,347	460	13,018	△17	13,001

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上	金額
報告セグメント計	89,854
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△724
四半期連結損益計算書の売上高	89,130

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,018
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	125
その他の調整額	△143
四半期連結損益計算書の営業利益	13,001

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	59,285	20,383	9,047	7,275	95,991	△200	95,791
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,285	20,383	9,047	7,275	95,991	△200	95,791
セグメント利益	9,309	1,719	1,114	442	12,587	413	13,001

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上	金額
報告セグメント計	95,991
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△200
四半期連結損益計算書の売上高	95,791

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,587
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	458
その他の調整額	△44
四半期連結損益計算書の営業利益	13,001

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
64,743	18,884	3,390	2,111	89,130

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,443	1,867	1,605	14,916

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	多角化事業	計
当第3四半期 連結累計期間償却額	162	△28	2	136
当第3四半期末残高	545	△12	—	533

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
69,314	19,931	3,843	2,702	95,791

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,127	2,427	1,577	15,133

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	計
当第3四半期 連結累計期間償却額	184	△2	181
当第3四半期末残高	306	—	306

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。